

●地域経済レポート特集号／REGIONAL ECONOMIC REPORT

マルシェノルド

第48号



脱炭素社会形成に向けた地域戦略

2020年10月、国は「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と、脱炭素社会の実現を目指すことを打ち出しました。そこでは社会経済を変革させ、投資を促し、産業構造の大転換と力強い成長を生み出す鍵として環境政策を位置づけ、2021年10月には2030年度までに13年度比で46%削減、さらに50%の高みを目指すという具体的な目標を示し、強力に取り組む姿勢を示しています。

地域においても脱炭素社会の形成に向けた動きを積極的に取り込みながら、持続的な経済活性化に向けた戦略を検討していく必要があります。

本号では、脱炭素社会に向けた地域戦略について考えていきます。

Contents

巻頭エッセイ

| | |
|------------------|---|
| 地域主体のエネルギー政策を | 1 |
| マルシェノルド編集主幹 小磯修二 | |

インタビュー

| | |
|-----------------|---|
| 「ゼロカーボン北海道」への挑戦 | 2 |
| 北海道知事 鈴木直道氏 | |

レポート

| | |
|----------------------|----|
| データから考える北海道の脱炭素社会づくり | 10 |
|----------------------|----|

地域事例1

| | |
|-------------------------------|----|
| 再生可能エネルギーの地産地活で ゼロカーボンシティへ | |
| ～石狩湾新港地域の「再エネ100%ゾーン」～ | 15 |

地域事例2

| | |
|-----------------------|----|
| 持続可能なまちづくりと地産地消エネルギー | |
| ～循環型地域社会で脱炭素を目指す上士幌町～ | 21 |

お知らせ

| | |
|---|----|
| 公開座談会「北海道における外国人材の受入れ環境について」 —選ばれる北海道に向けて—のご案内 | 27 |
| 「北海道観光50年の軌跡」 —2022（令和4）年3月発行—のご案内 | 28 |
| 令和4年度 地域活性化活動助成募集のご案内 | 30 |
| お知らせ | 31 |

表紙の切り絵作家

三苦 麻由子 Mayuko Mitoma

東京都出身。武蔵野美術短大卒業後、広告代理店勤務などを経てフリーに。1994年札幌へ。みとままゆこのペンネームで、水彩、ペン、墨絵、切り絵など、さまざまなタッチでジャンルにこだわらず活躍中。